

マーケティング イニシアチブで 東北発、新市場へ。

東北地域の産学官と手を携え、総合力を発揮しながら地域の
国際競争力強化に取り組みます。



東経連事業化センター

New technology Commercialization center of Tohoku

■ごあいさつ■

東経連では、東北7県の新産業・新規事業の創出支援を目的とする東北ベンチャーランド運動を1995年に開始し、域内の優れたベンチャー企業の発掘と経営支援に取り組んでまいりました。また、2002年には産学連携を軸に東北地域の国際競争力強化を目指し、東経連産学連携マッチング委員会を設置し、地元企業と大学等との共同研究の立上げに取り組み、2004年3月には東経連の呼びかけで東北地域の官民が出資し、地域ファンドとしては全国最大規模の東北インキュベーションファンドを組成致しました。



同ファンドの投資対象企業から2005年12月には第一号の新規株式公開企業も生まれ、東北地域の新技術の種が産業化に向けて芽吹きはじめています。東経連では、こうした芽をしっかりと成長させるため、地域企業に対するマーケティング支援等を柱に東北7県の産学官との連携を一層強化し、地域企業の国際競争力強化に取り組む東経連事業化センターを2006年4月に設立いたしました。

東経連事業化センターでは、東北発の技術を自らの手で世界市場に向けて送り出すべく、地域の産学官と手を携え、総合力を発揮しながら取り組んで参りたいと存じます。ご支援ご協力の程、お願い致します。

東経連事業化センター
会長 幕田圭一

事業概要

マーケティング、セールス・知財のサポート

東北地域にはユニークな技術シーズをもとに性能の高い新製品を開発している企業も数多くあります。しかしながら、顧客ニーズを十分に吸収した商品開発や、適切な販路チャンネルへのアクセス、知的財産戦略にも遅れを取っている企業が数多いのが現状です。そこで東経連事業化センターでは、マーケティング、セールス、知財等の側面から東北地域企業の新規事業の市場投入をサポートします。

革新的な研究開発プロジェクト創出のサポート

テレビアンテナ、テープレコーダ、電子レンジ等、東北発の技術シーズはこれまで世界のライフスタイルの革新に大きなインパクトを与えてきました。しかしながら、多くは東北地域の大学等と域外の企業との連携によるものです。そこで東経連事業化センターでは、東北の地元企業の参画を促し、革新的な研究開発プロジェクトを創出し、事業化をサポートします。

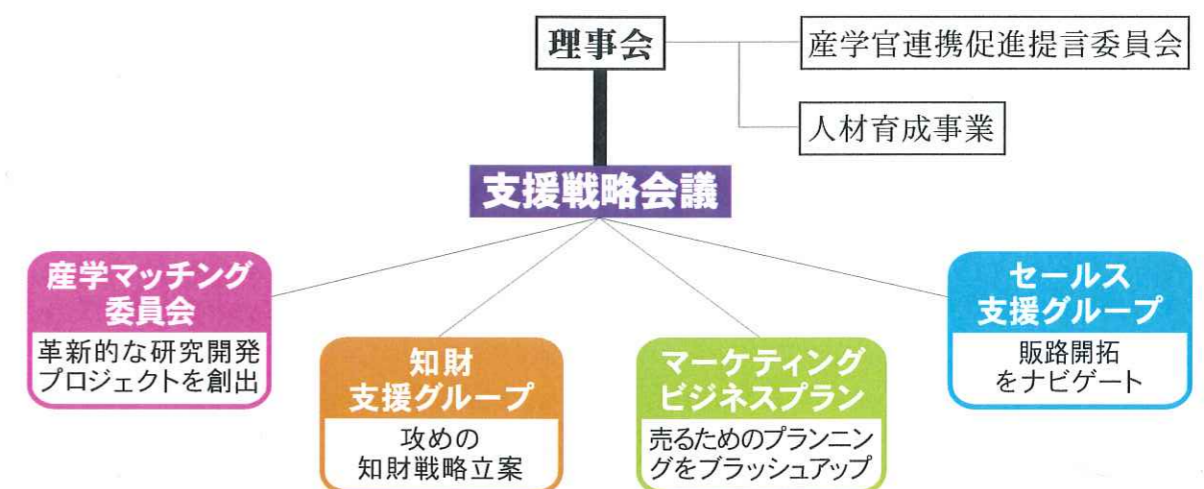
経営企画力アップを目指した人材育成

東北地域の企業の更なるステップアップを目指すため、マーケティング、セールス、知的財産面の人材育成プログラムを実施いたします。

科学技術・産業政策に対するの国への提言

東北7県の地域イノベーションシステムの強化に向けて、国、地方自治体の科学技術・産業政策に対する提言を行います。

スキーム概要



支援の流れ

I 新規事業のマーケティング・セールス・知財支援

対象/ 東北地域の企業

- ① 地域の産業支援機関の推薦を受けて、「マーケティング・ビジネスプラン支援事業」の申請書に必要事項を記入の上、東経連事業化センターにお申し込みください。
▼
- ② 支援戦略委員会議で支援プロジェクトの選定及び支援方針を決定の上、支援プロジェクト毎に支援チームを編成し、ハンズオンの支援活動を展開するとともに、マーケティング、ビジネスプラン、知財にかかる経費を一部負担します。
▼
- ③ 支援期間については、原則1年以内とします。

II 革新的な研究開発プロジェクトの創出

対象/ 東北地域の企業と共同での取り組みを希望する研究者

- ① 「産学マッチング支援事業」の申請書に必要事項をご記入の上、東経連事業化センターにお申し込みください。
▼
- ② 産学マッチング委員会での支援方針を決定の上、専門家を派遣し、プロジェクトの立上げと事業化を支援します。また、知的財産戦略等の構築に係る経費を一部負担します。
▼
- ③ 研究開発プロジェクトの立上後の支援については、あらためて支援戦略会議に申請いただきます。

〒980-0012 仙台市青葉区中央2-9-10セントレ東北11階
TEL022-225-8561 FAX022-262-7055
ホームページ <http://www.tokeiren.or.jp/nct/>

東経連事業化センター
(東北地域新規事業化支援センター)